

原子力防災訓練実施結果の報告について

平成26年12月26日
北陸電力株式会社

当社は、本日（12月26日）、本年10月20日に実施した原子力防災訓練の結果を原子力規制委員会に報告しましたので、お知らせします。

本日（12月26日）、原子力災害対策特別措置法第13条の2第1項の規定^{※1}に基づき、本年10月20日に実施した原子力防災訓練の結果をとりまとめ、原子力規制委員会へ報告しました。

今後とも、原子力防災体制及び緊急時対応の継続的改善に取り組んでまいります。

以 上

添付資料：「防災訓練実施結果報告」の要旨

※1 原子力災害対策特別措置法第13条の2第1項の規定

原子力事業者は、防災訓練の実施の結果を原子力規制委員会に報告するとともに、その要旨を公表しなければならないことを規定。

「防災訓練実施結果報告」の要旨

報告項目	主な報告内容
防災訓練実施年月日	平成 26 年 10 月 20 日
防災訓練参加人数	285 名
防災訓練のために想定した原子力災害の概要	全交流電源喪失により原子炉への注水機能が全て喪失する原子力災害を想定
防災訓練の内容	<p><志賀原子力発電所></p> <p>(1) アクシデントマネジメント訓練</p> <p>(2) 通報訓練</p> <p>(3) 緊急被ばく医療訓練</p> <p>(4) 緊急時環境放射線モニタリング訓練</p> <p>(5) 避難誘導訓練</p> <p>(6) 安全強化策の実動訓練</p> <p>① 大容量電源車による給電訓練</p> <p>② 大坪川ダム緊急取水訓練</p> <p>③ 耐震性貯水槽から屋外消火系への送水訓練</p> <p>④ 代替注水ラインナップ訓練</p> <p>(7) シミュレータ訓練</p> <p>(8) 消防訓練</p> <p><志賀原子力発電所・原子力本部・本店></p> <p>(1) 本部運営訓練</p>
防災訓練の結果の概要	計画していた各訓練については、特に大きな支障がなく遂行でき、原子力防災組織・災害対策組織の技能向上及び緊急時対応業務の習熟を図ることができた。
今後の原子力災害対策に向けた改善点	<ul style="list-style-type: none"> 原子力本部から発電所への問い合わせが発電所の負担となったことから、軽減する方法について検討する。 事象進展予測などの評価をより迅速かつ効率的に行えるよう、今回の訓練で実施した評価を知識ベースとして整備する。 代替注水ラインナップにおけるグレーチング下の弁操作にあたり、グレーチング開放に係る負担を軽減させるための工夫を行う。 原子力本部において E R C*との情報共有をより適切に行うための要員配置等について検討する。（※ 原子力規制庁 緊急時対応センター） 訓練中に時間スキップが入るとそれまでの活動が途切れることになるため、訓練シナリオを検討する段階において時間スキップのタイミング等について工夫する。

(参考 その他教育・訓練の実績)

平成 25 年 11 月 17 日～平成 26 年 10 月 19 日の期間内で計 445 回実施

訓練項目	訓練内容
緊急時の電源確保に係る訓練	電源車による給電訓練 等
緊急時の最終的な除熱機能の確保に係る訓練	消防車による使用済燃料貯蔵プールへの非常送水訓練 等
緊急時の運転操作に係る訓練	シミュレータを用いた全交流電源喪失時の対応確認訓練 等
水素爆発の防止に係る訓練	原子炉建屋ブローアウトパネル開放作業訓練
その他の訓練	補機冷却系ポンプモータ復旧訓練 ホイールローダによるがれき撤去訓練 等